

警 察 署 協 議 会 会 議 録

城南警察署協議会

開催年月日時	令和5年9月26日 午後4時00分 から 令和5年9月26日 午後5時30分 まで	
開催場所	城南警察署4階 大会議室	
出席者	警察署協議会	会長以下 8名
	警察署	署長、副署長、刑事管理官、総務課長、会計課長、 地域課長、刑事第一課長、刑事第二課長、 交通課長、警備課長、総務第二係主任
議 事 概 要		
<p>【会長挨拶（要旨）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 警察署協議会の役割は、警察の取り組みや活動について、城南区民の代表として意見を出し、一緒に検討しながら、警察行政に反映していくことであると考えているので、御協力をよろしく願います。 <p>【署長挨拶（要旨）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 新たに1名の方に協議会委員の委嘱状を交付させていただいた。よりよい城南区にするため、これまで培ってこられた知見や経験、新しい目線での意見やアドバイスをいただきたいと思っている。 <p>〈管内の治安情勢について〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 刑法犯認知件数について 刑法犯認知件数は、8月末現在で559件であり、前年と比べると+59件となっている。 ○ 人身事故発生件数について 人身交通事故発生件数は8月末現在で182件であり、前年と比べると-12件となっている。 ○ 福岡県内の交通事故死亡者数は、9月25日現在で73名となり、前年と比べると+25名と危機的な状況で、4月には県知事による「交通死亡事故警戒宣言」が22年ぶりに発令された。 		

議 事 概 要

- 本年3月に別府交番管内において、開庁以来、初の交通死亡事故が発生した。署員をはじめ関係機関、団体の皆様の様々な取り組みによって、現時点、死亡事故を抑え込むことが出来ているが、まだまだ予断を許さない状況にある。
- 今後、城南警察署員一丸となり、地域の皆様と協力、連携を図って、事件や事故の封じ込め対策に努めていく。
- 安全安心の町、城南区の実現まで道半ばであり、協議会委員の皆様からの貴重な御意見や御要望を警察活動に反映させ、更に効率的かつ効果的な施策や対策を講じていく。今後も忌憚のない御意見や御要望を頂戴したいと考えているため、どうぞよろしくお願いする。
- 城南警察署員一人一人が、自分の持ち場において出来る最高の治安サービスは何かということを常に考え、安全で安心して笑顔で暮らせる社会づくりに努めていくため、引き続き御理解と御協力をお願いする。

【自己紹介】

- 新規委嘱城南警察署協議会委員

【報告事項】（交通課長）

- 交通事故情勢と対策について
- 飲酒運転と通報義務について

【参加型訓練】

- 飲酒運転通報訓練（協議会委員・交通課長・城南署員）

【質疑・意見・要望等】

- 委員から「福岡県内の事故が約600件増加しているということであるが、どのような事故が増加しているのか。」旨の質疑があり、交通課長から「全体的な傾向として、幹線道路での事故や観光客が増えたことに伴うタクシーの事故が増加している。」旨の回答があった。

議 事 概 要

- 委員から「飲酒運転で検挙される世代にはどのような傾向があるのか。また、民間企業等からのアルコール検査結果による通報実績はあるのか。」旨の質疑があり、交通課長から「飲酒運転で検挙される世代は40～50代が多いが、以前に比べて20代の割合も増加している。海の中道事案等が風化していることが考えられ、飲酒運転の危険性等について広く訴えていく必要がある。アルコール検査結果による通報は一定数把握しており、通報があれば適切に対処していく。」旨の回答があった。
- 委員から「職場の若年層の中にも、飲酒運転がいけないこと、周りに迷惑をかけるという考えに至っていない者もいると感じる。」旨の発言があった。
- 委員から「運転前後のアルコールチェッカーによる確認は、現在のところ半導体不足による品不足のため完全な義務となっていないが、今後どのようになるのか。」旨の質疑があり、交通課長から「半導体不足も落ち着き、機器が整備できる状態となったと国が判断したため、12月1日からアルコールチェッカーによる確認が義務化される。」旨の回答があった。
- 委員から「交通事故対策や飲酒運転防止に関する広報の必要性があれば、広報紙やデジタルサイネージ等様々な広報媒体があるので相談していただきたい。」旨の発言があった。

【閉会】

以上で、令和5年度第2回警察署協議会を閉会する。